髙田川新聞

２０１８年１２月２５日
発行者
髙田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄２-１５-７
www.takadagawa.com

大相撲　一月場所
平成31年1月13日より
15日間
於　両国国技館

高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。
新弟子募集、四人マス席、千秋楽祝賀会、後援会など
各お問い合わせ・ご案内は、
行司　式守伊之助まで

立行司 第四十一代
式守伊之助 襲名披露
パーティのお知らせ
平成３１年２月１１日㈷ 午後５時
於 ホテルニューオータニ東京

髙田川部屋に立行司誕生

立行司　式守伊之助襲名

平成最後となる九州場所は、二横綱が休場する中、横綱・稀勢の里に注目が集まったが、まさかの四連敗後に休場が決まり、序盤から勢いよく星を積み重ねていった小結・貴景勝が最後までぶれない相撲で初優勝を勝ち取った。高田川部屋勢では、竜電が六勝九敗と負け越したものの、大関・高安、関脇・御嶽海を破る活躍で存在感を示し、十両の白鷹山は再十両から二場所連続勝ち越しを決めた。

また、この初場所の番付から行司の式守勘太夫が第四十一代　式守伊之助に昇格した。昭和五十年五月に行司・木村英樹として初土俵を務めから四十三年。一歩一歩こつこつと行司として大相撲と共に歩んできた結果、高田川部屋に初の立行司が誕生した。

竜電　最高位で存在感

自己最高位、前頭三枚目で迎えた九州場所。竜電は、初の上位挑戦の場所で初日から一勝五敗と苦しい戦いを強いられた。大相撲にはいくつかの大きな壁がある。最初の大きな壁は幕下から関取に上がる時。そして、次は十両から幕内に上がる壁。更に幕内での壁は、三賞と三役。しかし、竜電は大怪我による四年の日々を無駄にはしていなかったことを証明するかのように、輝と同じく七場所で十両を抜けると幕内昇進の場所では十勝して初の敢闘賞を受賞した。次なる目標は三役。それには上位で勝ち越しを続けることが必須となる。大関との初対戦、豪栄道戦には敗れたものの、七日目の高安戦では粘りに粘って一分五十九秒の激闘の末、同じ一門の大関から殊勲の星をあげた。九日目には、関脇・御嶽海からも我慢し続けながら攻めて白星。満員の場内を沸かせた。横綱不在とはいえ、終わってみれば三役力士七名から三勝をあげ、六勝九敗の負け越しながらも最後まで食らいつく相撲で存在感を示した。平幕上位に星を落としたことは痛かったが、上でも十分戦えるという軌跡は描いた。初場所ではしっかり稼げる星は稼ぎながら、再び上位挑戦できる番付へと戻し、早く結びの一番で立行司となった兄弟子から再び勝ち名乗りを受けてほしい。

迷える未完の大器　輝

初戦、落ち着いた相撲で阿炎を押し出し、好調な滑り出しに思えたのも束の間、二日目には敗け知らずだった朝乃山に初の黒星を喫す。続く貴ノ岩戦にも負け、一つ勝ったら連敗、一つ勝ったら連敗を繰り返した結果、白星は五勝止まり。千秋楽、分のよくない関脇・逸ノ城には九州場所で一番の相撲内容でしっかり勝って、平成三十年最後の一番を次に繋がる白星で締めくくった。

突き押しの相撲は、四つ相撲に比べて比較的勝負の時間が短い。突き押し得意の輝は、九州場所では、長い相撲になると攻め続けているようでも後半突き押しの威力が落ちて、最後の最後に隙ができつけ入られた。また、途中から組んでも四つ得意の力士のように「うまさ」という武器で切り抜けることができない。これまで十両から幕内にかけては、その圧倒的な突き押しの威力で勝ってこられた。しかし、幕内の中盤から上位ともなれば、もう一段階、上に行くための力をつけなくては勝てない。ただ、そんな思いが裏腹に本来の突き押しの威力を弱め、輝の相撲をぶれさせている要因とも思えた。迷った時は原点回帰。まだしばらくの間は圧倒的な突き押し相撲を磨いてはどうだろうか。運よく立てた千秋楽の「これより三役」の土俵。勝って矢を受け取った。これが恒例の場面になる日を願う。

白鷹山　連続勝ち越し

秋場所の好調をキープしているかのように白鷹山は初日から四連勝の快進撃。中日、千代の海に勝って六勝二敗で折り返した。当然のごとく優勝候補にも名前があがる。後半戦七番を二つ以上の白星で飾ることは他愛もないことのように思われた。しかし、そう易々とならないところが勝負の世界。三連敗から白星黒星で最後の二番のどちらかに勝たなければ勝ち越しすら危うくなった。十四日目、琴恵光を寄り切って再十両から二場所連続の勝ち越し。しかし、せっかくのチャンスで八勝止まりではもったいない。

この一年間、勝ち数と負け数の差を算出したところ、白鷹山は部屋内では断トツのプラス十六。この勢いを追い風に新しい年では大きく勝ち越して新入幕を目指してほしい。

幕下以下では、安芸の花が勝ち越して二年半ぶりに幕下上位一桁に番付を乗せる。また、大野城が怪我からの休場明け後、六勝、五勝と大きく勝ち越して再幕下を狙える番付に戻した。「三関取が若い衆を引っ張り上げるような部屋になってほしい」親方の願いが叶う日も近い。

※表記の番附は正式発表前の予想

幕内	竜電	先場所 6勝9敗	●○●●●●○● ○●○●○●○	前半戦は気合が空回りしていたが中盤から粘る相撲が取れて流れが良くなった。いつも上位で戦えるよう立ち合いの力強さと攻めの速さを磨き、三役以上を目指す。
〃	輝	先場所 5勝10敗	○●●○●●○● ●●●○●●○	当たった後の攻め方がよくなかった。立ち合いから踏み込み、千秋楽の一番のように自信を持って最後まで攻め切れる相撲を確立させて強い三役を目指したい。
十両	白鷹山	先場所 8勝7敗	○○○○●○●○ ●●●○●○●	前半から粗い相撲が目立ち、押し相撲の筈が無策に組む事が多過ぎた。初場所は自分の押しの強さを信じて誰にも止められない様な相撲を目指して取っていきたい。
幕下	安芸の花	先場所 4勝3敗	○○●●○○●	立ち合いの思い切りと叩きが減って勝ち越せた。基礎をしっかりして三人の関取を追い越す気持ちで頑張りたい。
〃	湘南乃海	先場所 4勝3敗	○○●○●●○	先場所、少しは前に出れたので、しっかり前に出る稽古を積んで一年以内には関取に上がれるようにしたい。
〃	安芸乃山	先場所 3勝4敗	●○○●○●●	立ち合い迷わず、しっかり前に出る相撲を取っていきたい。下半身を強化して関取昇進への勝負の一年にしたい。
三段目	大雷童	先場所 2勝5敗	●●○○●●●	前にでることはできたが力不足で勝ちにつながらなかった。鍛え直して必ず十両を狙える地位まで戻る。
〃	大野城	先場所 5勝2敗	○●○●○○○	先場所は落ち着いて相撲が取れた。筋力強化と責める相撲を極めて幕下復帰して定着できるよう勝ち越したい。
〃	大乗	先場所 4勝3敗	○○●○○●●	前に圧力をかけて相撲を取れるようになってきた。素早く中に入り先に攻めて年間最多勝を目指して頑張りたい。
〃	剛力山	先場所 3勝4敗	●●○○●○●	一年間の勝ち星が五分だった。年間でも勝ち越すために、まずは初場所で勝ち越しを決め、良いスタートにしたい。
〃	恵比寿丸	先場所 2勝5敗	●○●○●●●	先場所は攻めの相撲が少なく負け越してしまった。年間最多勝を目指し、初場所からしっかり攻めて勝ち越したい。
〃	前乃富士	先場所 5勝2敗	○●●○○○○	先場所は大勝ち出来て良かった。初場所もこの勢いで勝ち越せるよう身体を調整して連続勝ち越し狙いたい。
〃	勝武士	先場所 3勝4敗	●○●○●○●	一番一番しっかり相撲は取れたが、体が上がってしまうくせが出た。しっかり稽古を積み本場所で強くなりたい。
〃	須磨ノ海	先場所 5勝2敗	○○○○○●●	徐々に肩の力が抜け立ち合いのカチ上げも伸びが増してよい相撲が取れた。稽古に精進し幕下目指して頑張りたい。
序二段	暁	先場所 5勝2敗	○●●○○○○	序盤で二敗したが気持ちを切り替えて五勝できた。怪我を治し、万全な状態で早く幕下昇進できるようにしたい。
〃	前大将	先場所 2勝5敗	●○●●●○●	負け越しより勝ち越しが多い一年にするべく怪我なく初場所からを勝ち越しを狙って頑張りたい。
〃	藍	先場所 4勝3敗	●○●○○●○	九州場所は勝ち越しこそしたものの内容があまり良くなかった。初場所からしっかりと内容の良い相撲で勝ちたい。
〃	櫻	先場所 3勝4敗	○○●●●●○	二連勝の後の四連敗は痛かった。下半身を強化し、怪我や病気なく今まで以上に勝ち数を増やしていきたい。
序ノ口	天惠	先場所 3勝4敗	●●○●○●○	前に出る相撲が少しずつ取れるようになってきた。序ノ口は今場所で卒業して最高位をどんどん更新していきたい。
〃	松ヶ島	先場所 2勝5敗	○●●●●○●	土俵上で大分残れるようになったが立ち合いでもっとつっぱって、早く序二段に上がれるよう勝ち越したい。
新加入	長谷川	今場所　前相撲		小、中の相撲大会出場の経験しかありませんが元力士の叔父の勧めもあり、相撲で強くなりたくて入門しました。

立行司　式守伊之助の目

大雷童が久しぶりの幕下で二勝五敗の成績。負け越しはしたが内容は正々堂々の立派な相撲だった。その大雷童の後に登場した湘南乃海は勝って勝ち越しを収めたが、引き技が多く、相手を呼び込んで中に入られる相撲が目立った。大雷童が二勝目をあげた日の夜、私が元気いっぱいの相撲だったと称えたところ、「僕は湘南に辛抱して押す姿を見せたかった」という言葉が返ってきた。十両上位の地位まで上がった大雷童が未完の大器・湘南乃海に身をもって示すという兄弟子の微笑ましい光景に高田川部屋は良い部屋だなと嬉しい気持ちになった。

髙田川親方の喝！

竜電は上位初挑戦で六番。まあ、合格点だろう。いい相撲と悪い相撲があったが高安戦粘って勝った相撲では上位でも通用する姿が垣間見れた。もっと立ち合いの踏み込み、スピード、一気の攻めを磨けば上位で活躍できる。

輝は相撲になっていなかった。この負けを活かして、どこをどう鍛え、どういう相撲をめざしていったら勝てるかが少しは見えたので、そこを自分でしっかりやっていけば、いずれ花開くことだろう。

白鷹山は十両で勝ち越したが、幕内で戦える相撲ではない。稽古で立ち合いをみがき、早く幕内に上がってもらいたい。

若い衆は全般的に気迫が足りない。本気で関取になりたい、強くなりたいと思えるような稽古と本場所の相撲が見えてこない。変わるのは自分自身。自覚を持って稽古に励め。

＜ご案内＞
髙田川部屋　千秋楽祝賀会
平成３１年１月２７日（日）　午後６時３０分　開宴
会場：南国酒家・原宿本店　（会費制）
※千秋楽祝賀会、後援会、四人マス席、新弟子募集など
各お問い合わせは、ショートメールにて
行司　式守 伊之助まで　090-3215-6524